

第 11 表

種類別及び業態別林業経営体数

本表は昭和29年2月1日現在の「林業調査」によるものである。

市 郡	総 数	種 類 別 経 営 体							業 態 別 経 営 体					
		世帯 経営	協 同 経営	共 同 経営	会 社 経営	組 合 経営	合 資 経営	其 他	管 理	育 林	用 材 生産	製 炭	製 薪	其 他 の 林 産 物 採取
昭和27年	14 468	13 558	212	604	26	8	60	3 991	3 768	1 840	987	3 188	694	
28	14 672	14 188	104	237	16	11	116	6 257	6 689	454	528	654	90	
大 阪 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
堺 市	21	20	-	-	-	-	1	17	4	-	-	-	-	
岸和田市	467	429	25	9	-	-	4	165	290	6	-	4	2	
豊 中 市	11	11	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	
布 施 市	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
池 田 市	209	208	-	-	-	-	1	160	20	7	17	5	-	
吹 田 市	54	53	-	-	-	-	1	45	9	-	-	-	-	
泉大津市	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
高 槻 市	544	544	-	-	-	-	-	321	166	22	13	22	-	
貝 塚 市	693	676	-	8	4	1	4	499	171	22	-	-	1	
守 口 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
枚 方 市	530	523	-	-	1	-	6	512	18	-	-	-	-	
茨 木 市	161	160	-	-	1	-	-	48	-	113	-	-	-	
八 尾 市	4	3	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	
泉佐野市	25	19	1	-	-	-	5	24	-	1	-	-	-	
富田林市	309	307	-	1	-	-	1	87	221	-	-	1	-	
寝屋川市	28	28	-	-	-	-	-	25	3	-	-	-	-	
三 島 郡	1 048	1 013	3	22	-	1	9	573	216	44	128	85	2	
豊 能 郡	1 931	1 736	8	150	1	2	34	698	657	75	340	86	75	
泉 北 郡	1 799	1 786	2	9	1	-	1	733	992	48	8	18	-	
泉 南 郡	1 990	1 931	29	17	-	2	11	530	1 382	25	-	43	10	
南河内郡	2 575	2 546	18	3	3	-	5	976	1 485	60	22	32	-	
中河内郡	1 206	1 140	16	18	5	1	26	628	287	18	-	273	-	
北河内郡	1 061	1 049	2	-	-	4	6	195	768	13	-	85	-	

(注) 資料 大阪府総務部統計課。

第 7 章

水 産 業

## 第7章 水産業

### (1) 漁業経営体の変動

大阪府における漁業は、瀬戸内海の一小領域に限られた内海漁業で、海洋漁業に恵まれない立地条件にあるため、大阪湾のいわしのほか特にみるべきものはない。また一方戦後の乱獲による悪影響に加え、大阪市を中心とする工場発展に伴う海水面の汚染などにより、その沿海漁業も衰微の一途をたどっている。

そのため小規模経営者は逐次転廃業し、漁業経営体は毎年減少していく傾向にある。

いまこれを客体数の累年比較でみると、次表の通りであり、個人経営体では31年は27年の46.6%となり、一方共同経営体では27年に対し90.4%の比率で、前記減少の傾向を如実に物語っている。

	個人経営体数	指数	共同経営体数	指数
昭和27年	2 274	100.0	21	100.0
28	1 242	54.6	24	114.2
29	1 178	51.8	26	123.8
30	-	-	-	-
31	1 061	46.6	19	90.4

(注) 指数は昭和27年を100とする。

### (2) 漁船数

昭和30年の漁船総隻数は2 138隻であったが、昭和31年の総隻数は2 421隻となり、283隻(13.2%)の増加をみた。したがって隻数の増加につれてトン数も増加し昭和30年3 956総トン数に対し、昭和31年は5 256トンで1 300トン(32.8%)の増加となる。

次に動力船無動力船別にみると、動力船においては昭和30年の1 026隻に対し、昭和31年は1 126隻で100隻(9.7%)の増加であり、またトン数は昭和30年の3 001トンに対し、昭和31年は4 155トンで1 154トン(38.4%)の増加となっている。また無動力船については、昭和30年の1 112隻は昭和31年には1 295隻と、183隻(16.4%)の増加、またトン数では昭和30年の955トンに対して昭和31年は1 101トンで、146トン(15.2%)の増加となっているが、これは経営体の減少とは逆の傾向を示している。

	漁船数		動力船		無動力船	
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数
昭和30年	2 138 (100.0)	3 956 (100.0)	1 026 (100.0)	3 001 (100.0)	1 112 (100.0)	955 (100.0)
昭和31年	2 421 (113.2)	5 256 (132.8)	1 126 (109.7)	4 155 (138.4)	1 295 (116.4)	1 101 (115.2)

(注) カッコ内は昭和30年を100とする指数である。

### (3) 漁獲高及び漁労日数

本府の漁業は、前述の通り瀬戸内海の一部において活動しているにとどまり、その漁獲高も昭和31年全国漁獲高1 149 987千貫に対し5 568千貫(0.5%)となりきわめて少ない割合を占めているにすぎないお本府漁獲高に占めるイワシ漁獲高の割合はきわめて大きく、したがってその大漁小漁により総漁獲高は大きく左右される。

次に本府内の魚種別漁獲高を、昭和29年の総漁獲高5 434千貫を基準としてみると、昭和30年の総漁獲高は4 289千貫(78.9%)で1 145千貫(21.1%)の減少となっているが、昭和31年では総漁獲高が5 568千貫(102.4%)で逆に134千貫(2.4%)の増加となっている。これを魚類、貝類、水産動物別にみると、魚類は昭和29年が3 409千貫で、これに対して昭和30年は3 261千貫(95.7%)と減少しているが、昭和31年は4 036千貫(118.3%)と増加を示している。また貝類は昭和29年が1 306千貫に対して、昭和30年は321千貫(24.6%)と大きく減少しているが、昭和31年は649千貫(49.6%)で29年には及ばないが、30年よりは少し増加している。水産動物は昭和29年が419千貫でこれに対して、昭和30年は706千貫(168.5%)、昭和31年は882千貫(210.4%)と年々大きく増加をみせ漁獲高では総体に昨年より活況をみせたといえよう。また魚種別の漁獲高が昭和31年の総漁獲高5 568千貫に占める割合をみると魚類の4 036千貫(72.6%)は7割強で大半を占めており、次いで水産動物の882千貫は(15.8%)となり貝類の649千貫は一番少なく11.6%となっている。

次に網別の漁獲高及び漁労日数について、昭和29年と比較してみると、総漁獲高については前述の通りであるが、漁労日数についてみると、昭和29年の総漁労日数20 409日に対して、昭和30年の総漁労日数は177 222日方で、これは26 873日(13.1%)の減少となり、さらに昭和31年は175 504日で28 591日(14.0%)の減少となり、漁日数については年々減少の傾向にある。

また漁労1日に対する平均漁獲高は昭和29年が26.6貫(100.0%)でこれに対して昭和30年が24.2貫(90.9%)となり昭和31年は31.7貫(119.1%)となっている。

底曳網漁業についてみると、昭和29年漁獲高は1 856千貫でこれに対して昭和30年は1 210千貫(65.2%)で、646千貫(34.8%)の減少であるが、昭和31年は1 783千貫(96.8%)で73千貫(3.4%)の減少にとどまった。漁労日数については、昭和29年の92 893日に対して昭和30年の72 323日(77.8%)は20 570日(22.2%)の減少であり、また昭和31年は78 548日(84.5%)で14 345日(15.5%)の減少となっている。次に漁労1日に対する平均漁獲高についてみると、昭和29年が19.9貫に対して昭和30年が16.7貫で16.1%の減少であり昭和31年は22.7貫で14.0%の増加となっている。

また網漁業についてみると、漁獲高は昭和29年が2 745千貫であり、これに対して昭和30年は2 482千貫(90.4%)で、これは263千貫(9.6%)の減少であるが昭和31年は3 316千貫(120.8%)で、571千貫(20.8%)の増加である。また漁労日数は昭和29年が6 019日に対して昭和30年は2 942日(48.9%)で大きく減少してをり、昭和31年も2 822日(46.8%)でいずれも減少を示している。次に漁労1日に対する平均漁獲高をみると、昭和29年が455.9貫となり、昭和30年は843.5貫でこれは85.0%の増加であり、また昭和31年は1 175.0貫で157.7%の増加となる。

敷網漁業についてみると、漁獲高においては昭和29年が7 719貫でこれに対して昭和30年は2 504貫(32.4%)となっているが、これは5 215貫(67.6%)の減少で、昭和31年は2 643貫(34.2%)となり、これは5 076貫(65.7%)の減少である。また漁労日数は昭和29年が6 140日に対して、昭和30年は1 517日(24.7%)昭和31年は1 192日(19.4%)でいずれも減少している。次に漁労1日に対する平均漁獲高は、昭和29年が1.2貫となり、昭和30年は1.6貫でこれは33.3%の増加であり、また昭和31年は2.2貫で83.3%の増加である。

刺網漁業についてみると、漁獲高においては昭和29年が35千貫でこれに対して昭和30年は22千貫(64.8%)となつてをり、これは13千貫(35.2%)の減少であるが、昭和31年は32千貫(91.0%)となり、3千貫(9.0%)の減少をみている。また漁労日数は昭和29年が8 760日で昭和30年は7 389日(84.3%)と減少しているが、昭和31年は8 483日(96.8%)と再び増加を示している。次に漁労1日に対する平均漁獲高についてみると、昭和29年が4.0貫となり、昭和30年は3.0貫でこれは25.0%の減少であり、昭和31年は3.7貫で7.0%の減少となる。

地曳網漁業についてみると、漁獲高においては昭和29年が290千貫で昭和30年は269千貫(92.7%)となり21千貫(7.3%)の減少であり、昭和31年は69千貫(23.8%)で221千貫(76.2%)の減少である。漁労日数は昭和29年が8 760日に対して昭和30年が7 389日(84.3%)となり、昭和31年は8 483日(96.8%)でいずれも減少を示している。また漁労1日に対する平均漁獲高をみると昭和29年の50.8貫に対して昭和30年は10.3貫と大きく80.0%の減少であり、昭和31年には54.0貫で逆に6.2%の増加を示した。

小型定置網漁業についてみると、漁獲高は昭和29年が40千貫で、これに対して昭和30年の54千貫(132.8%)は14千貫(32.8%)の増加であり、昭和31年の83千貫(205.3%)は約2倍増加である。また漁労日数は昭和29年が7 242日に対して昭和30年は5 217日(72.0%)と減少しているが昭和31年は9 139日(126.1%)と増加している。次に漁労1日に対する平均漁獲高は、昭和29年の5.5貫が昭和30年には10.2貫と4.7貫(85.4%)の増加をみたが、昭和31年はさらに9.0貫と3.5貫(63.6%)の増加をみた。

釣漁業についてみると、漁獲高は昭和29年が29千貫であったが、これに対して昭和30年は37千貫(129.3%)と増加しており昭和31年は35千貫(122.6%)とやはり増加している。漁労日数についてみると昭和29年が21 525日に対して昭和30年が24 727日(114.9%)昭和31年が26 753日(124.2%)でいずれも増加し、漁労1日に対する平均漁獲高をみると、昭和29年30年がいずれも1.3貫となっており、昭和31年が1.5貫と0.2貫(15.3%)の増加となっている。

延縄漁業についてみると、昭和29年の漁獲高76千貫に対して昭和30年82千貫(105.6%)でわずかの増加を示し、昭和31年は51千貫(65.9%)と大きく減少している。漁労日数は昭和29年が21 487日で、これに対して昭和30年が17 201日(80.0%)、昭和31年が14 262日(66.3%)といずれも減少している。また漁労1日に対する平均漁獲高をみると、昭和29年が3.6貫で昭和30年の4.7貫は1.1貫(30.5%)の増加であるが昭和31年には、3.5貫と0.1貫(2.7%)の減少をみた。

さらにその他の漁業についてみると、まず漁獲高は昭和29年が53千貫でこれに対して昭和30年は130千貫(242.6%)昭和31年には41千貫(76.3%)と30年の増加に比較して31年は、かなり減少している、これは31年についてのみ採貝の154千貫を、その他の漁業と別に掲げられたためと思われる。なお漁労日数についてみると昭和29年が21 072日で昭和30年の20 005日(94.9%)はわずかに減少したが、これが昭和31年には24 098日(114.3%)と増加した。また漁労1日に対する平均漁獲高は、昭和29年が2.5貫であったものが昭和30年は6.4貫と、3.9貫(156.0%)の増加をみたが昭和31年には1.6貫と、0.9貫(3.6%)の減少になっている。

第1表 漁業種類別漁業経営体数

市 郡	海 面 漁 業						内水面漁業 (正組合員)
	総 数	個人経営	共同経営	会社経営	漁業従事者世帯	その他	
昭和27年	2 299	2 274	21	3	...	-	558
28	2 157	1 242	24	1	890	-	555
29	1 845	1 178	26	1	639	...	478
30	...	...	...	...	...	...	...
31	1 080	1 061	19	-	...	-	...
大 阪 市	217	217	-	-	...	-	...
堺 市	110	110	-	-	...	-	...
岸 和 田 市	91	81	10	-	...	-	...
泉 大 津 市	13	11	2	-	...	-	...
貝 塚 市	33	32	1	-	...	-	...
泉 佐 野 市	76	73	3	-	...	-	...
泉 北 郡	27	26	1	-	...	-	...
泉 南 郡	513	511	2	-	...	-	...

(注) 資料 農林省大阪統計調査事務所。

第3表 魚 種 別 漁 獲

本表は各漁業協同組合からの

市 郡	総 数	いわし	すずき	あじ	ぼら	かれい ひらめ	たい	このろ	えそ	ぶり (はまち)	あなご	うなぎ
昭和27年	2 164 404	566 733	12 517	49 810	45 274	68 044	7 793	...	...	...	34 065	...
28	4 418 177	2 059 079	37 770	124 260	36 651	79 212	13 774	...	...	...	48 685	...
29	5 134 317	2 891 299	112 988	24 685	62 845	83 561	4 209	4 028	14 913	1 137	77 272	6 565
30	4 288 965	2 694 200	19 100	41 800	11 100	99 800	8 900	5 100	13 500	1 769	47 100	2 588
31	5 567 531	3 349 280	25 461	34 575	20 436	108 346	5 898	18 453	19 089	2 339	48 578	...
大 阪 市	507 272	200 515	21 458	7 844	7 766	6 395	695	13 196	-	-	19 204	...
堺 市	873 479	604 343	236	3 780	5 401	625	-	1 189	2	-	16 665	...
岸 和 田 市	1 207 772	955 346	-	2 892	47	8 330	-	-	1 126	-	3 601	...
泉 大 津 市	247 899	210 784	1 990	4 370	940	952	150	300	-	495	128	...
貝 塚 市	171 447	101 914	650	6 179	1 306	1 160	-	675	162	665	689	...
泉 佐 野 市	1 003 243	644 400	-	3 153	-	26 841	-	-	6 570	-	3 552	...
泉 北 郡	171 590	115 478	44	2 173	929	122	5	559	11	113	-	...
泉 南 郡	1 384 829	516 500	1 083	4 184	4 047	63 921	5 048	2 534	11 218	1 066	4 739	...

(注) 単位：貫。資料 農林省大阪統計調査事務所。

第2表 漁 船 数

本表は昭和31年12月31日現在の登録漁船数及びトン数である。

市 郡	総 数		動 方 船				無 動 方 船							
	隻 数	総トン数	総 数		5トン以下		5トン以上		総 数		5トン以下		5トン以上	
			隻 数	総トン数	隻 数	隻 数	隻 数	隻 数	隻 数	総トン数	隻 数	隻 数		
昭和27年	3 618	6 425	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	1 582	1 596	686	-	641	45	896	-	-	-	-	-	-	-
29	2 355	4 451	1 035	3 334	893	142	1 320	1 117	-	-	-	-	-	-
30	2 138	3 956	1 026	3 001	891	135	1 112	955	-	-	-	-	-	-
31	2 421	5 256	1 126	4 155	940	186	1 295	1 101	1 289	6	-	-	-	-
大 阪 市	496	1 264	205	1 040	177	28	291	224	287	4	-	-	-	-
堺 市	418	747	155	526	130	25	263	221	261	2	-	-	-	-
岸 和 田 市	264	868	152	751	97	55	112	117	112	-	-	-	-	-
泉 大 津 市	71	144	23	105	18	5	48	39	48	-	-	-	-	-
貝 塚 市	91	203	39	128	30	9	52	75	52	-	-	-	-	-
泉 佐 野 市	142	571	118	540	81	37	24	31	24	-	-	-	-	-
高 石 町	54	133	26	102	19	7	28	31	28	-	-	-	-	-
忠 岡 町	60	145	23	90	16	7	37	55	37	-	-	-	-	-
田 尻 町	53	56	6	9	6	-	47	47	47	-	-	-	-	-
泉 南 町	119	204	58	146	56	2	61	58	61	-	-	-	-	-
南 海 町	253	392	131	300	124	7	122	92	122	-	-	-	-	-
岬 町	400	529	190	418	186	4	210	111	210	-	-	-	-	-

(注) 資料 大阪府農林部水産課。

業 漁 獲 高 (海面)

月報を集計したものである。

その他の魚類	魚類計	あさり	さるぼ	あかい	かき	その他の貝類	貝類小計	いか	たこ	えび	かに	その他の水産動物	水産動物小計	も類
288 640	1 072 876	...	284 444	84 352	11 486	62 761	443 043	45 789	53 675	300 590	...	248 431	648 485	...
506 392	2 905 823	...	352 085	45 591	20 956	454 016	872 648	50 315	65 281	408 742	...	115 102	639 440	266
125 460	3 408 962	125 645	1 083 241	51 625	12 657	33 197	1 306 365	25 451	34 899	208 857	85 749	64 034	418 990	...
316 643	3 261 600	46 330	114 172	38 863	4 347	117 378	321 090	48 890	72 836	409 806	102 867	71 686	706 085	190
403 080	4 035 535	42 898	328 141	168 186	9 723	99 974	648 922	42 931	66 603	494 047	172 335	105 809	881 727	1 347
24 724	301 797	34 248	127 728	4 613	-	36 502	203 091	-	18	122	148	2 096	2 384	-
6 272	638 513	8 650	131 656	65 176	-	5 326	210 808	700	1 014	22 204	240	-	24 158	-
85 852	1 057 194	-	1 209	6 996	-	3 977	12 183	2 047	1 380	98 203	10 915	25 851	138 396	-
9 120	229 229	-	16 290	-	-	770	17 060	-	-	940	670	-	1 610	-
22 897	136 297	-	7 012	-	-	1 162	8 174	1 082	166	22 728	536	2 464	26 976	-
72 984	757 500	-	-	29 404	-	16 937	46 341	6 961	12 184	108 409	46 214	25 634	199 402	-
7 582	127 016	-	44 108	-	-	191	44 299	24	-	135	116	-	275	-
173 649	787 989	-	138 61	997 9 723	35 109	106 967	32 119	51 841	241 306	113 496	49 764	488 526	1 347	-

第4表 網別漁業漁獲高 (海面)

本表は各漁業協同組合からの月報を集計したものである。

市 郡	総 数	底曳網	まき網	敷網	刺網	小型 定置網	地曳網	釣漁業	延 漁 網 業	採 貝	その他
昭和27年	2 164 404	...	412 743	...	57 250	77 357	175 880	26 848	49 103	...	1 365 223
28	4 418 177	1 683 804	1 987 605	3 449	54 036	165 349	130 117	41 891	112 273	...	239 653
29	5 134 317	1 855 802	2 744 651	7 719	35 167	40 454	290 336	28 776	77 522	...	53 440
30	4 288 965	1 210 399	2 481 695	2 504	22 783	53 720	269 090	37 221	81 892	...	129 655
31	5 567 531	1 783 209	3 316 010	2 643	32 031	83 065	69 221	35 223	51 118	154 188	40 823
大 阪 市	507 272	128 272	203 175	2 643	2 175	54 230	-	120	32 501	74 837	9 319
堺 市	873 479	225 797	588 552	-	6 825	14 397	5 402	-	17 028	15 285	193
岸 和 田 市	1 207 772	240 473	953 706	-	5 436	-	6 241	-	520	1 396	-
泉 大 津 市	247 899	5 235	207 235	-	400	6 575	12 009	-	155	16 290	-
貝 塚 市	171 447	43 028	98 108	-	374	-	21 301	-	718	7 918	-
泉 佐 野 市	1 003 234	358 843	644 400	-	-	-	-	-	-	-	-
泉 北 郡	171 590	8 113	103 600	-	839	-	22 583	-	97	36 358	-
泉 南 郡	1 384 829	773 448	517 234	-	15 982	7 863	1 685	35 103	99	2 104	31 311

(注) 単位：匁。 資料 農林省大阪統計調査事務所。

第5表 漁業種類別漁労日数 (海面)

本表は各漁業協同組合からの月報を集計したものである。

市 郡	総 数	底曳網	まき網	敷網	刺網	小型 定置網	地曳網	釣漁業	延 漁 網 業	採 貝	その他
昭和29年	204 095	92 893	6 019	6 140	8 760	7 242	5 707	21 525	21 487	...	21 072
30	177 222	72 323	2 942	1 192	7 389	5 217	25 901	24 727	17 201	...	20 005
31	175 504	78 548	2 822	1 192	8 483	9 139	1 281	26 753	14 262	8 926	24 098
大 阪 市	42 383	3 221	341	1 192	2 130	5 456	-	80	11 773	5 906	12 284
堺 市	11 803	6 270	474	-	603	160	178	-	2 220	1 478	420
岸 和 田 市	14 739	12 817	670	-	1 030	-	110	-	40	72	-
泉 大 津 市	950	256	152	-	12	252	133	-	34	111	-
貝 塚 市	2 865	1 738	69	-	15	-	353	-	64	626	-
泉 佐 野 市	11 784	16 236	548	-	-	-	-	-	-	-	-
泉 北 郡	1 222	47	78	-	47	-	431	-	103	516	-
泉 南 郡	84 758	37 963	490	-	4 646	3 271	76	26 673	28	217	11 394

(注) 単位：日。 資料 農林省大阪統計調査事務所。

第 8 章  
製 造 業